

令和5年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	○新学習指導要領を踏まえ、キャリア教育を促す教育課程の編成を目指す。 ○アセスメントを踏まえた授業実践の取組を一層推進し、日々の授業改善に取り組む。	①キャリア教育の視点を大切にして、学習内容の見直しを図る。 ②アセスメントを実施して個に応じた「わかる授業」を実践する。	①校内研究を中心に、授業実践から見直しを図りながら、キャリア教育の視点を大切にしたシラバスを各学部で作成する。 ①キャリア教育の視点を大切にしたカリキュラム・マネジメントについて研修会を実施する。 ②授業に即した観点に対応したアセスメントを実施する。 ②アセスメントの結果を個別教育計画に反映させ、単元目標を明確にした授業を進めていく。	①各学部でキャリア教育の視点を大切にしたシラバスを作成することができたか。 ①研修会を実施したことで、カリキュラム・マネジメントに対する職員の理解が進んだか。(職員アンケート実施) ②個に応じた授業実践を通じて、児童・生徒の明確な変容が観察されたか。					
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	○一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援を組織的に行う。	①児童生徒が生き生きと活動し、自主性を重んじる集団授業作りを実践する。	①発達段階に応じた集団授業や行事等を実践していく。 ①学部ごとに集団での授業作りをテーマにした研修等を設定し実施する。	①授業参観や学習発表会等で、児童生徒が生き生きと主体的に取り組むことができたか。(児童生徒・保護者アンケート等実施)					
3	進路指導・支援	○児童・生徒一人ひとりの将来の生活の充実を目指し、自立と社会参加に向け	①自立と社会参加に向けた授業を通して、社会の一員として生きる力を伸ば	①自立をテーマとした授業を実践し、その成果を校内で共有する。 ②切れ目ない支援部会と協働して保護者対象進路研修会を実施す	①実践報告を共有できたか。 ②進路研修会等を通して、保護者に丁寧な情報提供ができたか。(保護					

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
	た進路指導・支援を行う。	す。 ②保護者対象進路研修会の充実を図り、進路に関する情報提供を丁寧に行う。	る。	者アンケート実施)					
4	地域等との協働	○共生社会の実現に向け、障害のある子どもと障害のない子どもの相互理解や地域への理解を拡げるために、地域と連携し、開かれた教育活動を展開する。	①地域の各種団体と連携し、児童生徒が地域で活躍できる場面を増やす。 ②近隣小中学校、高等学校と連携し、交流や巡回相談等を通じて地域の障害理解を促進する。	①自治会や郵便局、ケアプラザ等の地域と連携した交流活動を実施する。 ②居住地交流や学校間交流、近隣小中学校や高等学校との交流を実施する。 ②巡回相談やHP等を通じて教材教具等も含めた本校の取組を地域に向けて発信し、近隣小中学校や高等学校との連携を深める。	①児童生徒が地域と連携する活動を実施できたか。 ②居住地交流や学校間交流を実施することができたか。 ②近隣小中学校や高等学校との連携をすることができたか。				
5	学校管理 学校運営	○安全・安心な学校体制の確立に向けて、環境整備の推進と不祥事防止へ向けての取組をすすめる。 ○児童・生徒と向き合う時間を確保するために、働き方改革を推進し、組織的な学校運営と校務の効率化を図る。	①校舎内外の機能改善を行うとともに、校内環境の整備を進める。 ②スクールバス内における安全に対する取り組みを強化する。 ③アフターコロナの健康安全管理の在り方や活動の取り組み方を明確にして実施する。	①教職員全員で校舎内外の環境整備を計画的に進める。 ①廃棄目的や廃棄基準・廃棄目標量を明確にして物品の整理廃棄を進める。 ②スクールバス内における安全上の対策を可視化する。 ③学校生活における場面ごとの感染症対策や衛生管理の具体的な実施方法をまとめる。	①児童生徒の安全に配慮した学校施設の改善ができたか。 ①物品の整理や廃棄ができたか。 ②誰が対応しても安全に遂行できたか。 ③衛生管理の具体的な方法を全校で実施できたか。 ③保護者に必要な情報を周知して協同することができたか。				